

様式 1

授業科目 社会保障論I

【担当教員名】 横山和彦	対象学年	1	対象学科	理学・作業・言語・栄養・社会
	開講時期	後期	必修・選択	選択・選択・選択・選択・必修
	単位数	2	時間数	30

【概要及び学習目標】

本講義は、日本の社会保障の施行過程を、日本資本主義の展開過程にあわせ分析、意義づけることを究極の目的とする。従来の社会保障研究は、社会保障制度の仕組みを解説したものが大部分であった。それらは社会体制との関連がなく、断片的なものに終わっている。また、社会保障の実施家庭を分析したものはほとんどない。社会科学以前の社会保障の恣意的なありべき姿を論じたものである。本講義は、実証的に社会保障の体制維持の機能を明らかにする。

【学習の目標】

日本の社会保障を1945年をさかいに、前史と(本)史とに区分する。日本の社会保障、敗戦以降1960年代の初頭にかけて体制化された。そうして、1970年代当初に重要政策課題となり、充実の道を歩いた。ここで初めて、社会保障制度論が講じられる。(1980年代に入ると「財政再建」のもとに社会保障制度の一連の「制度改革」が実行され縮小再生産的施行が行われている。)これらのことの教授と理解を講義の目標とする。

回数	学習の主題	学習内容	学習方法
1-3	序章	社会保障研究の課題と方法	
4-7	第1章	社会保障前史	
8-10	第2章	被占領期の社会保障	
11-14	第3章	完全雇用期の社会保障	

【評価方法】

単位取得か否かの評価

【履修上の留意点】

授業中の飲食、男子学生の着帽、私語など禁止

【使用図書】

教科書・参考書別	書名	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	日本社会保障の歴史	横山和彦	学文社	1991年
参考書	社会保障論	横山和彦	有斐閣	1978年「本学図書所蔵」
	福祉国家「第6巻」	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1984年—1985年
	転換期の福祉国家「全2巻」	東京大学社会化研究所編	東京大学出版会	1991年